

## 生命と倫理 10回目

### ヘルスサイエンス (健康科学)



### ヘルスサイエンス

健康科学とは、人間の「**こころ**」と「**からだ**」の関連性に着目し、その心身相関が示す諸現象を科学的に体系づけ、人間の生涯にわたる「健康」を総合的に考えることを目的とした研究領域である。

これまでの「**医学**」「**栄養学**」などの領域に加えて、**脳科学**、**ストレス科学**、**精神科学**、**文明科学**など多様なマクロ領域を統合し、生命現象のメカニズムを解明する最先端科学といえる。

### ヘルスサイエンスが健康寿命を延ばす

健康寿命とは、医療・介護に依存しないで、**自分の心身で生命維持し、自立した生活ができる生存期間**のこと。

WHOが2000年にこの概念を提唱した。  
平均寿命から医療・介護に依存して生きる期間を除いた期間が健康寿命ということになる。

日本は憲法第25条において、社会保障政策を充実させることにより健康寿命を延ばす努力をしている。

### 憲法第25条

すべて国民は、**健康で文化的な最低限度の生活**を営む権利を有する。

国は、すべての生活部面について、**社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進**に努めなければならない。

## 森戸辰男

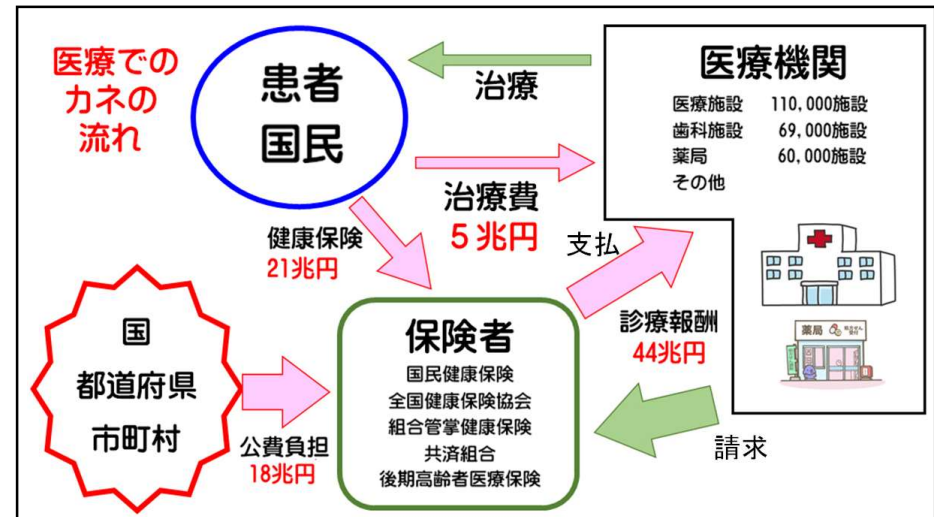
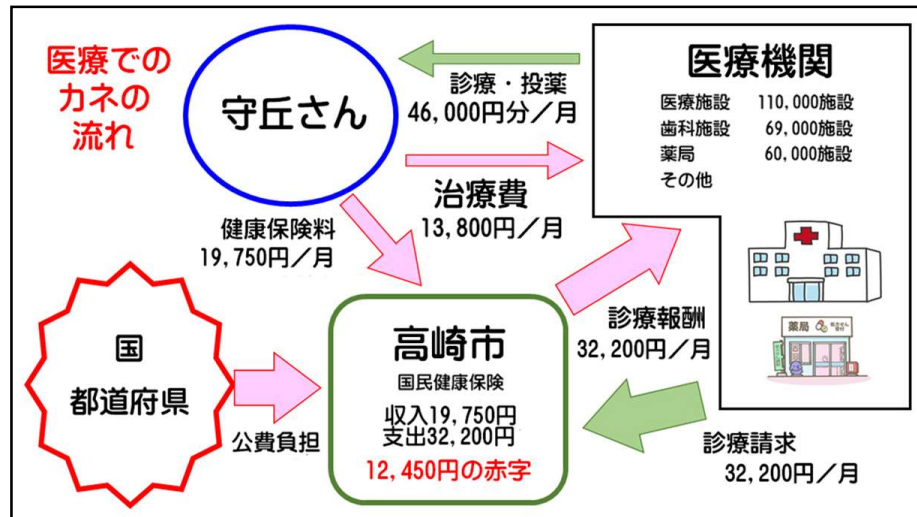


1888年(明治21年)、広島県生まれ  
 1907年、**新渡戸稲造**に倫理学を学ぶ。  
 1914年、東京帝国大学 法科大学 経済学科卒業  
 1916年、経済学科 助教授  
 1917年、ロシア革命勃発  
 1920年、**クロボトキン**研究で朝憲素(びん)乱罪**投獄**  
 1921年、ドイツ留学  
 マルクス主義やワイマール体制を研究  
 1937年、大原社会問題研究所にて活動  
 1945年、9月、GHQが**新憲法草案を募集**  
 1945年、11月、「憲法草案要綱」を公表  
 1946年、**生存権**を加える  
 1946年、**11月3日、日本国憲法公布**

## 日本の社会保障制度

### 四つの制度

1. 社会保険制度 公的年金・医療保険・雇用保険  
 労災保険・介護保険
2. 社会福祉制度 児童福祉・高齢者福祉  
 母子福祉・障害者福祉
3. 公的扶助制度 生活保護
4. 公衆衛生 予防接種・公害対策・伝染病予防  
 上下水道整備・動物保護



### 先進諸国の医療制度の簡易比較

2020年森岡まとめ

国名	消費税	医療保険制度	外来患者自己負担	かかりつけ医登録制
イギリス	20%	公的(税財源)	原則無料	有
アメリカ	なし	メディケア メディエイドのみ	保有保険で異なる	無
フランス	20%	公的皆保険	3割~7割負担	有
ドイツ	19%	公的皆保険	原則無料	無
スウェーデン	25%	公的(税財源)	自治体が決定	家庭医登録制
日本	10%	公的皆保険	1~3割負担	無

### 盲腸(虫垂炎)の治療費(都市別)

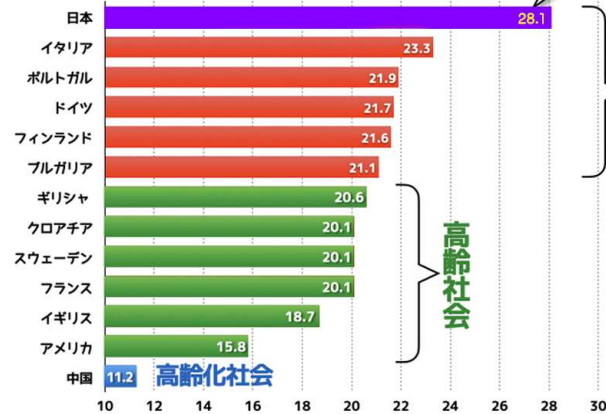
順位	都市	費用	入院日数
1	ニューヨーク(アメリカ合衆国)	152~440万円	1~3日
2	パリ(フランス)	22~97万円	3日
3	マドリッド(スペイン)	48~91万円	4日
4	ロンドン(イギリス)	74万円	2日
5	ローマ(イタリア)	69~73万円	3日
6	ジュネーブ(スイス)	27~70万円	3日
7	バンクーバー(カナダ)	66万円	3日
8	シンガポール(シンガポール)	34~43万円	3日
9	デュッセルドルフ(ドイツ)	35万円	3日
10	(一般例)(日本)	30万円	6~7日

「世界の医療と安全2010」(東京海上日動作成)より抜粋

### 各国の高齢化率

2018年の統計です

ダントツで世界一



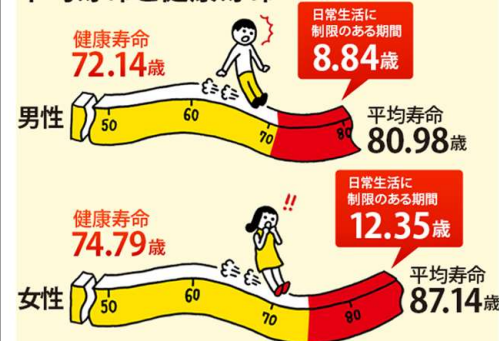
超高齢社会

高齢社会

### 老人の医療と福祉

2016年データ

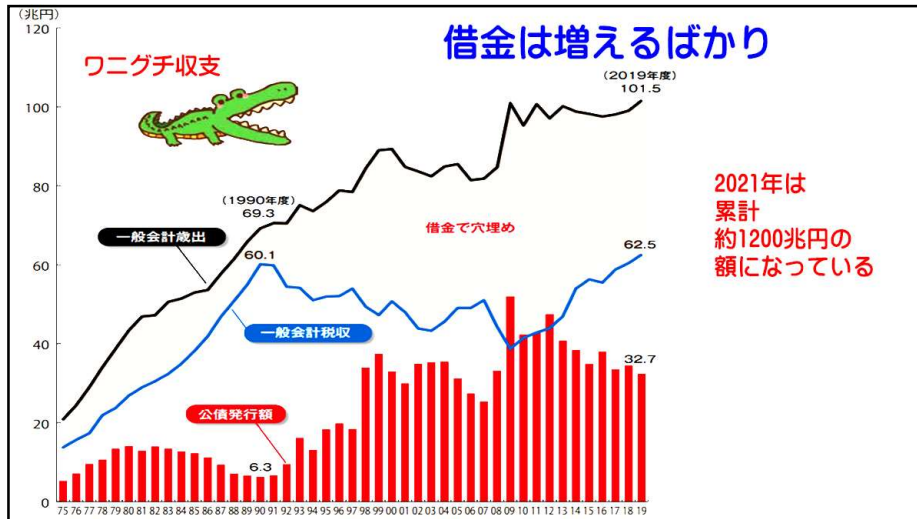
#### 平均寿命と健康寿命



平均寿命と健康寿命の差がもたらす負のインパクトは、社会に大きくのしかかる。

厚労省推計では、社会保障費のうち医療給付費は、2016年度の44兆円から、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)となる2025年には54兆円に拡大すると指摘。

現在、介護給付金(20兆円)と合わせると社会保障給付費全体の約50%を占め、年金(40.6%)を超える規模になっている。



増え続ける社会保障給付費の対策として。財務省は厚生労働省にこんなことを言っています。

- ・年金給付の削減・先送り
- ・健康保険料の増額
- ・介護保険料の増額
- ・消費税の割り増し
- ・診療報酬の削減
- ・薬価の見直し
- ・ジェネリック薬品の増加
- ・福祉予算の削減

などを強要しています。

海外での治療における高額保険金支払い事例

国名	内容	支払保険金
アメリカ	空港到着後、呼吸困難。救急車搬送。肺塞栓症手術 49日間入院。	9,335万円
アメリカ	呼吸困難による救急車搬送。誤嚥性肺炎 16日間入院。チャーター機帰国	6,080万円
アメリカ	交通事故による救急車搬送。脳挫傷手術 33日間入院	5,664万円
南アフリカ	クルーズ船で胸痛。救急車搬送。気胸手術 36日間入院。チャーター機帰国	2,414万円
アメリカ	買い物中意識消失。救急車搬送。心不全 25日間入院。チャーター機帰国	2,347万円
アメリカ	空港内意識消失。救急車搬送。感染性心内膜炎 15日間入院。チャーター機帰国	2,295万円
アメリカ	車運転中事故。救急車搬送。全身強打。多発外傷。14日間入院。アメリカで治療。	2,113万円
中国	乗っていたバスが事故。右足骨折 手術。17日間入院。日本に帰国して治療	666万円

